熱中症予防対策

猛暑日等の増加に伴い、熱中症による搬送者は増加傾向にあります。熱中症は、場合によっては死亡することもありますが、予防法を知って実践することで防ぐことができることから、令和３（2021）年は以下のような取組を行いました。

１　商業施設等における街頭啓発

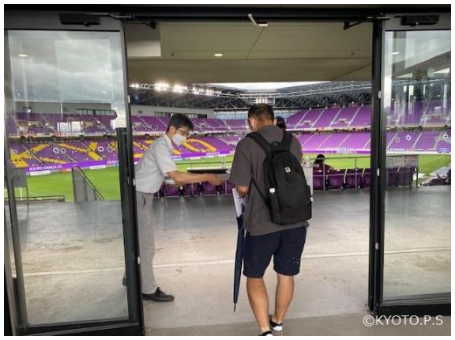
＜京都府×大塚製薬株式会社による熱中症対策啓発キャンペーン＞

梅雨明けの時期は熱中症リスクが高まることから、梅雨明け前の６月24日、イオンモール京都桂川において、こまめな水分補給、適切なマスク着用、また、今年度から運用が開始された熱中症警戒アラートの活用等による熱中症予防対策について呼びかける啓発活動を行いました。当日は、京都地方気象台、近畿地方環境事務所、京都市、また、ＷＥ　ＤＯ　ＫＹＯＴＯ！ユースサポーターとともにチラシ等の配布を行いました。

街頭啓発の様子

＜サンガスタジアムｂｙＫＹＯＣＥＲＡにおける熱中症対策啓発キャンペーン＞

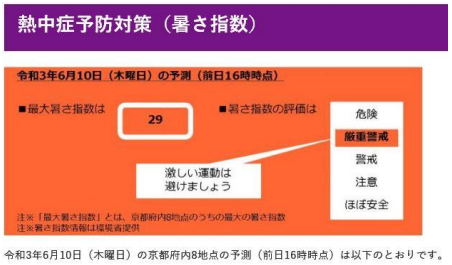
８月９日、サンガスタジアムｂｙＫＹＯＣＥＲＡにおいて、熱中症予防対策に関するチラシを配付するとともに、動画を放映しました。



街頭啓発の様子

２　ホームページ等における情報発信

防災・防犯情報メール配信システムにおいて、国が発表する「熱中症警戒アラート」を配信するとともに、府ホームページにおいて、翌日の暑さ指数（ＷＢＧＴ）の情報を分かりやすく配信しました。



府ホームページでの配信の例